



医療法人社団 八千代会 メリィホスピタル
看護部 研修案内
Nursing department training guidance



看護部理念

一人ひとりの持てる力をサポートし人生に寄り添い幸せを届けられるケアを実践します

看護部基本方針

- 1.多様な疾患の理解を深め、声かけ・タッチング・笑顔を大切に利用者の治癒力に働きかける看護を実践します
- 2.利用者の意思決定を尊重するため、本人・家族・多職種と共に考えます
- 3.関わるすべての人に「ありがとう」を伝えることができる人間力を高めます

看護部共育方針

看護の力を実感し、利用者・家族・職員間で喜びを共有できる人材を育成します

- 1.利用者の生活歴・背景の理解に努め、日々の関わりを通じ擁護する立場で行動できる
- 2.最良の看護技術を探求することができる
- 3.フィットセラピーを通じ、自身の健康増進を実感しケアに活かすことができる
- 4.共に育ち合う共育環境を整え、専門職として成長することができる
- 5.地域・社会とのつながりを通じ、絆を深める看護活動ができる

看護体制

- 病棟・外来・地域連携室・健診センターの4部門で構成しています
- 病棟は、回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟
- 外来は、往診・訪問診療が含まれます
- 地域医療連携室は、法人内約1800床（医療・サービス付き高齢者向け住宅・介護医療院等）を含め急性期病院・地域の施設・居宅介護支援事業所等との前方連携・退院支援を行います
- 勤務体制は、変則2交替制となります

- ・週休2日制
- ・日勤：8時30分～17時30分
- ・夜勤：17時～9時
- ・早出：①6時30分～15時30分 ②7時～16時
- ・遅出：①13時～22時 ②11時～20時

* 職員の配置人数は、朝・夕食前後の介入量が増える時間帯にあつく配置できるようシフトを組んでいます

キャリア支援

- 認定看護師教育機関入学・特定行為研修受講等の支援制度があります
- 看護協会等で実施される研修参加の支援制度があります

2022年8月現在

認知症看護認定看護師・皮膚排泄ケア認定看護師・摂食嚥下障害看護認定看護師・感染管理認定看護師
特定行為研修2分野研修修了者2名 9分野受講中5名

新人教育(研修)体制

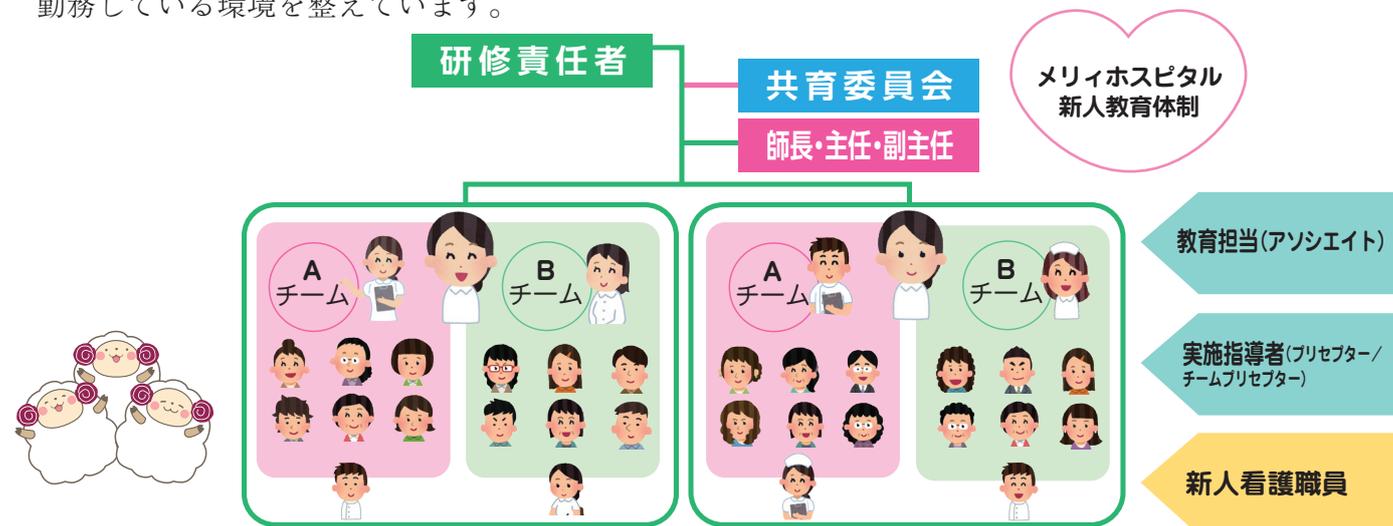
共に学び共に育つ

プリセプター・アソシエイト制度を導入しています

*プリセプター複数による新人サポート体制

プリセプターは変則2交替勤務を行っているため、日勤帯に勤務していない日もあります。

そのため、新人一人に対して複数のプリセプターを配置することで、いつでも日勤帯にプリセプターが勤務している環境を整えています。



① 新人看護職員

免許取得後に初めて就労する看護職員のことをいいます。

② プリセプター・チームプリセプター（実地指導者）

新人看護職員に対して、臨床実践に関する実地指導、評価などを行います。新人看護職員に対して、複数の指導者が担当し、チームの中で新人看護師をサポートしていきます。

③ アソシエイト（教育担当者）

看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、実施指導者への助言及び指導、また、新人看護職員への指導、評価を行います。

④ 研修責任者

施設および看護部門の教育方針に基づき、教育担当者、実施指導者および新人看護職員の研修プログラムの策定、計画および運営に対する指導および助言を行います。また、各部署の管理者や教育担当者と連携を図りつつ、教育担当者の支援を行い、部署間の調整も含め新人看護職員研修全体を担当しています。

⑤ 教育委員会（プログラム企画・運営組織）

クリニカルラダーにおける研修プログラムの策定、企画および運営を行っています。



*各職場には複数新人配置を行います

*入職後に夜勤体験やローテーション研修があります。ローテーション研修では、配属部署以外の病棟も体験できます。また、在宅分野では、同一建物上階のサービス付き高齢者向け住宅メリィデイズ・メリィハウス西風新都・地域などを訪問する「メリィケア訪問看護ステーション」での研修、外来における訪問診療・往診の研修を行います。

2020年度新人看護職員研修4月スケジュール ～メリィホスピタル～担当者

目的：医療チームの一員としての役割を担う為に、基礎技術や看護職員としての基本的な態度・技術・知識を身につけることができる

	4/1(水)	4/2(木)	4/3(金)	4/6(月)	4/7(火)	4/8(水)	4/9(木)	4/10(金)
時間		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
8:30～8:50		オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	シャドウイング	オリエンテーション	オリエンテーション	法人内施設見学 他病院施設を回る (昼食込)
9:00～10:00	法人研修	看護部 オリエンテーション	人権学習・倫理研修	看護記録		心電図	検体・輸液製剤	
10:00～11:00			看護倫理研修		吸引・呼吸ケア			
11:00～12:00		医療情報の規定	認知症・高齢者対応			食事援助・口腔ケア 経腸栄養		
12:00～13:00	休憩	休憩	休憩	休憩				
13:00～14:00	法人研修	感染管理	医療安全・転倒転落	休憩	患者体験	休憩		
14:00～15:00							訪問看護について	
15:00～16:00		社会人学習	防災	シャドウイングの 学びをまとめる	褥瘡について			
16:00～17:00			ストレス マネジメント			シャドウイングの 学びの交流		
17:00～17:30		1日の振り返り(16:30～17:30)						

2020年度新人看護職員5月～3月研修スケジュール(院内)

目的：医療チームの一員としての役割を担う為に、基礎技術や看護職員としての基本的な態度・技術・知識を身につけることができる



	5月	6月	7月	8月	
新人研修	技術・知識・倫理研修	グループ ワーク/ リフレッシュ企画	リフレッシュ研修 (1日)	80分医療機器 (人工呼吸・ シリンジポンプ・ 輸液ポンプ・ 経腸栄養ポンプ)	緊急時BLS
	共通研修	医療安全・感染・認知症研修会・緩和ケア			
	職場スケジュール	OJTスケジュール 看護技術チェックリスト 確認・実施			
	夜勤体験(病棟)				

2025年度新人看護職員研修スケジュール ～メリィホスピタル～

目的：医療チームの一員としての役割を担う為に、基礎技術や看護職員としての基本的な態度・技術・知識を身につけることができる

	4/1(火)	4/2(水)	4/3(木)	4/4(金)	4/7(月)	4/8(火)	4/9(水)	4/10(木)	4/11(金)	4/14(月)														
時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目														
8:30～8:50	メリィホスピタル全体集合研修 メリィホスピタルへ集合し八千代へ					更衣などの説明	シャドウイング 業務の流れや患者さんとの接し方を学ぶ	オリエンテーション 前日の研修の振り返り	オリエンテーション 前日の研修の振り返り	部署研修①														
9:00～10:00						オリエン テーション		シャドウイング 部署研修の学び 社会人基礎力①	体位交換・ トランスファー															
10:00～11:00	法人研修 入社式	医療安全①	感染管理	BCP (事業継続計画)	認知症・ 高齢者対応 (人権・ 倫理学習を含む)						休憩	オムツ交換	部署研修より 自己の課題を 見つける											
11:00～12:00	研修の説明	医療情報の規定												休憩	休憩	看護論研修	休憩							
12:00～13:00	労務	休憩	防炎基礎講座 消化器訓練	フィット セラピー	ポートフォリオ学習 部署への紹介状作成													オムツ交換	患者さんの 気持ちを考える 職場で患者体験					
13:00～14:00	休憩													接遇研修	感染管理					人事考課	振り返り学習	休憩		
14:00～15:00	八千代会 グループに ついて	医療情報の規定	ストレス マネジメント	グループワーク /まとめ																				
15:00～16:00														連絡事項:今後の予定	休憩・評価表提出					部署訪問				
16:00～17:00	全体集合研修修了 メリィホスピタルへ(車内で今後の予定確認)																						1日の 振り返り	1日の 振り返り
17:00～17:30														1日の振り返り	1日の振り返り									

2025年度新人看護職員5月～3月研修スケジュール(院内)

第4金曜日
14:30～15:30

目的：医療チームの一員としての役割を担う為に、基礎技術や看護職員としての基本的な態度・技術・知識を身につけることができる

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術 知識 倫理研修	リフレッシュ 研修	患者監察の基本・ 接遇研修	働きやすい職場を 考える・報告・連絡・ 相談	緊急性の判断と 報告の基本・ 緊急リスクの 高い患者の 基本的特徴	多重課題	リーダーシップと マネジメント・ 接遇研修	クリスマス サプライズ 準備会	クリスマス サプライズ	1年間で 心に残る看護	1年目のまとめ 発表準備・接遇研修	頑張った会
新人研修 共通研修											
職場 スケジュール	OJTスケジュール 看護技術チェックリスト 確認・実施										
		夜勤体験(病棟)			ローテーション					ローテーション	
						夜勤体験(病棟)					

	4/15(火)	4/16(水)	4/17(木)	4/18(金)	4/21(月)	4/22(火)	4/23(水)	4/24(木)	4/25(金)	4/28(月)		
時間	11日目		12日目		13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目	20日目
8:30~8:50	オリエンテーション		オリエンテーション		オリエンテーション 前日の研修の振り返り			オリエンテーション 前日の研修の振り返り		オリエンテーション 前日の研修の振り返り		
9:00~10:00	Aグループ電子カルテ2階・4階 訪問看護	Bグループ部署研修②	Aグループ部署研修②	Bグループ電子カルテ3階・5階・外来	部署研修③	摂食嚥下機能と 食事介助/ 病院食体験	部署研修④	部署研修⑤	吸引・呼吸ケア	部署研修⑥	採血	部署研修⑦
10:00~11:00												
11:00~12:00												
12:00~13:00												
13:00~14:00					休憩				休憩			
14:00~15:00					口腔ケア				緊急時の対応		休憩	
15:00~16:00	検体・血液製剤	褥瘡			栄養・経管栄養・ 注入				いのちを 見つめるケア		医療安全:②	
16:00~17:00												
17:00~17:30	1日の 振り返り		1日の 振り返り		1日の振り返り				5月の研修の打ち合わせ: リフレッシュ研修について グループワーク		1日の振り返り	

	4/30(水)	5/1(木)	5/2(金)	5/3(水)~6(火)	5/7(水)	5/8(木)	5/9(金)	5/12(月)	5/13(火)	5/14(水)	5/15(木)
時間	21日目	22日目	23日目	24・25日目	26日目	27日目	28日目	29日目	30日目	31日目	32日目
8:30~9:00	オリエンテーション 前日の研修の振り返り				オリエンテーション 前日の研修の振り返り				オリエンテーション 前日の研修の振り返り		オリエンテーション 前日の研修の振り返り
9:00~10:00	導尿・膀胱留置 カテーテル	注射・輸液① 講義:静脈内注射・ 末梢静脈穿刺時の安全対策・ 輸液管理・C.V管理(入浴時・ 定期交換を含め)患者識別	終末期ケア	2日研修 2日休み	遊びの学習・接遇 社会人基礎力②	部署研修⑩	法人施設見学	部署研修⑪	介護補助活用の ための看護師へ の研修	部署研修⑫	看護記録
10:00~11:00											
11:00~12:00		注射・輸液②									
12:00~13:00		休憩									
13:00~14:00	休憩	休憩	院長訓話	部署研修⑧⑨	休憩			休憩		休憩	
14:00~15:00	清潔・排泄・更衣	医療安全:③	薬剤の種類と 副作用		心電図				6ラニング研修 (バイタルサインの測定と 基本的観察/患者との会話と 情報収集の基本/問診の方法) グループワーク		集合研修 新人コミュニ ケーション
15:00~16:00											
16:00~17:00		医療機器 貸し出し方法	研修のまとめ 日祭日の 部署研修に 入る前に: 注意事項・ グループワーク 振り返り		訪問看護に ついて			ポートフォリオ 学習			
17:00~17:30	1日の振り返り				1日の 振り返り				1日の 振り返り		研修のまとめ 振り返り・連絡

八千代会グループメリィ看護職ラダー（メリィラダー）

(文書番号ラダー 2)

定義	レベル	I		評価欄	II		評価欄		
		メリィラダー		自己 他者	メリィラダー		自己 他者		
	目安ラダー	卒後 1 年目			卒後 2～3 年目				
看護の「臨床実践能力」	レベルの定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する			標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する				
	ニーズをとらえる力	レベル毎の目標	対象者に要望を問いかけることができる			状況に応じた問いかけを自ら実践できる			
		行動目標	<input type="checkbox"/> データーベースに関連する情報を対象者・家族・支援者から得ることができる <input type="checkbox"/> VS 測定・全身状態から生命を脅かす変化可能性がある場合、報告・相談ができる			<input type="checkbox"/> 受け持ち対象者のデーターベースを確認し、情報更新ができる <input type="checkbox"/> 受け持ち対象者の思いが反映された看護計画を立案し、PDCA が実践できる。			
	ケアをする力	レベル毎の目標	わからないことを発信できる			チーム員と共有したケアが実施できる			
		行動目標	<input type="checkbox"/> 看護基準・手順を活用し標準的なケア実践できる <input type="checkbox"/> 患者の特徴を考慮したケアが実施できる <input type="checkbox"/> 安全なケアを実施するため技術チェックリスト判定を受け、承認を得る <input type="checkbox"/> グループ内認定（輸液・シリンジポンプ）を取得する			<input type="checkbox"/> 対象者の特徴を理解し、看護計画の実践ができる <input type="checkbox"/> 必要に応じ、ケアアセスメントを実施し、計画に反映することができる <input type="checkbox"/> Off-JT での看護技術マニュアルに沿った指導ができる。 <input type="checkbox"/> グループ内認定（褥瘡・胃管・Mesoin ケア）を取得する			
			レベル毎の目標	自身が得た情報を発信することができる			必要な情報を記録に残し、チームに発信することができる		
			行動目標	<input type="checkbox"/> 自分の目で見た情報・カルテから得る情報をもとに、観察記録・報告ができる <input type="checkbox"/> カンファレンスで、自分の得た情報を発信することができる <input type="checkbox"/> ケアを実践する際、対象者の要望確認した上で実施することができ			<input type="checkbox"/> 対象者の情報を関連する職種に情報提供することができる <input type="checkbox"/> 関連する職種に自ら情報発信し、相手から得た情報を記録に残すことができる <input type="checkbox"/> 関連職種と協働して実践したケア事例をナラティブ（語り）として 1 事例以上発表することができる（ケーススタディ） <input type="checkbox"/> 助言、指導を受けながら退院指導の計画立案し、実施できる		
	意思決定を支える力	レベル毎の目標	カルテから対象者・家族の意志決定を確認することができる			対象者・家族の希望や意向を意図的に確認ができる			
		行動目標	<input type="checkbox"/> カルテに対象者の想い・生活歴・職業歴等を記述することができる <input type="checkbox"/> ACP について学習し、理解できる			<input type="checkbox"/> 受け持ち対象者の ACP を理解し、看護計画に反映することができる			
	各レベルの実践課題	<input type="checkbox"/> 看護観をまとめ、発表する（五感を生かした看護技術事例を含むこと）			別紙	<input type="checkbox"/> 事例を元に、看護観を発表する <input type="checkbox"/> ケーススタディを 1 症例		別紙	
評価年月日	職場： 年 月 日	評価者サイン		職場： 年 月 日	評価者サイン				
評価年月日	職場： 年 月 日	評価者サイン		職場： 年 月 日	評価者サイン				

評価基準

- [A] 他者への指導もできる
- [B] 自力で実施できる
- [C] 他者の指導の下、実施できる

評価基準

- [I] B or Cのみ
- [II] A or Bのみ
- [III] 以上 すべてA

承認日 2024.4.1 発行日 2024.4.1

Ⅲ		評価欄		Ⅳ		評価欄		Ⅴ		評価欄	
メリィラダー		自己	他者	メリィラダー		自己	他者	メリィラダー		自己	他者
卒後 4～6 年目				卒後 7 年目～、以後ワークライフバランス、キャリア開発に応じて							
ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する				幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する				より複雑な状況においてケアの受け手にとっての最適な手段を選択し QOL を高める看護を実践する			
自ら発しない対象者のニーズを読み取り、確認することができる				対象者の要望をつかみチームと共に実現に向けリーダーシップを発揮することができる				対象者の要望をつかみ、看護部理念の実践につながる支援ができる			
<input type="checkbox"/> 受け持ち対象者の特性を理解し、個性を取り入れた看護計画の PDCA が実践できる				<input type="checkbox"/> 看護実践から、対象者のニーズを把握するため有効な手法を教示することができる				<input type="checkbox"/> 生活の視点で対象者を捉え、その人にとって最良の環境をつくる支援ができる			
<input type="checkbox"/> 多角的視点から対象者を理解し、優先度の高いニーズをとらえることができる											
特性を踏まえた看護を発信・実践できる				対象者の状態に適した看護実践ができる				多職種チームの中で対象者の状態に合わせた支援ができる			
<input type="checkbox"/> 個性に合わせたケアをチーム内で統一し実践できるよう発信・評価することができる				<input type="checkbox"/> 災害訓練を企画し、職場内で実施することができる（ハラスメント、BCP 等でも良い）				<input type="checkbox"/> MSW 等と連携し、経済的視点も重視した退院後の生活を見据えた支援に対し、指導的立場で管理ができる			
<input type="checkbox"/> Mesoins ケアを実践し報告できる				<input type="checkbox"/> MSW 等と連携し、経済的視点も重視した退院後の生活を見据えた支援ができる				<input type="checkbox"/> MSW 等と連携し、経済的視点も重視した在宅生活を見据えた支援に対し、指導的立場で管理ができる			
<input type="checkbox"/> 職場内（OJT）で個性を重視し、看護技術マニュアルに沿った育成ができる				<input type="checkbox"/> MSW 等と連携し、経済的視点も重視した在宅生活を見据えた支援ができる							
患者・家族・多職種に必要なケアについて説明することができる				社会保障等社会の変化を踏まえ、多職種と協力しその人らしさを支える看護のリーダーシップがとれる				法人外の施設と良好な連携をとることができる			
<input type="checkbox"/> 対象者の持てる力を引き出すため、日常生活のあらゆる場面で残存機能の活性化につながるよう多職種と連携することができる				<input type="checkbox"/> 組織横断方チーム医療の実践メンバーとして日常的に活動できる				<input type="checkbox"/> 各専門職の力を融合したマグネット的役割を通じ、社会資源等も活用した幸せな人生につながるケアの実践リーダーができる			
<input type="checkbox"/> 対象者の課題を多職種と共有するだけでなく、できることも発信することができる				<input type="checkbox"/> 多職種連携の困難事例の解決に向けたとりくみに対しリーダーシップを発揮できる				<input type="checkbox"/> 改善課題を明確にし、チームとして取り組んだ課題をまとめ発表する			
<input type="checkbox"/> e-learning のリーダー研修を受講し課題に取り組み発表することができる											
<input type="checkbox"/> 退院指導の計画立案し、主体的に実施できる											
<input type="checkbox"/> 病状の変化に合わせて在宅の視点で対象者の生活に沿った退院後計画が主体的に提案、実施できる											
対象者、家族の意志決定に関する情報提供ができ、その支援ができる				病状の変化を鑑み、意志決定のゆらぎに関わる確認ができる				意志決定困難事例への介入ができる			
<input type="checkbox"/> レベル I が受け持つ対象者の ACP の支援ができる				<input type="checkbox"/> レベル II が受け持つ対象者の ACP の支援ができる				<input type="checkbox"/> 困難事例発生の際、倫理委員会など職場を超えた専門家の意見を求めることができる			
<input type="checkbox"/> カンファレンスにおいて患者の立場にたち発言ができる				<input type="checkbox"/> カンファレンスにおいてゆらぎや自己表現できない対象者の意思決定事例の提起ができまとめ報告することができる							
<input type="checkbox"/> 対象者の希望や意志決定を多職種へ伝えることができる				<input type="checkbox"/> 対象者の希望、意志決定を叶えるために多職種への働きかけ、連携がとれる							
<input type="checkbox"/> チーム連携を意識した看護計画の PDCA の実践。実践内容を看護実践交流会で発表。（対象者を生活者として捉えられるような継続看護） <input type="checkbox"/> 法人内他施設での実習を行い、実習内容を職場で伝達講習する。 <input type="checkbox"/> 所属事業所外ジョブローテーションの実施		別紙		<input type="checkbox"/> ラダーⅢ申請スタッフの同僚評価の実施 <input type="checkbox"/> 院外連携の実施、法人内研修参加（必須） <input type="checkbox"/> 院外学会発表 1 題以上（退院支援や退院指導を含めて） <input type="checkbox"/> アソシエイト・プリセプターに対する講師（担当者と同僚） <input type="checkbox"/> 法人内他施設での実習を行い、実習内容を職場で伝達講習する。 <input type="checkbox"/> 所属事業所外ジョブローテーションの実施		別紙		<input type="checkbox"/> 院外学会発表 2 題以上 <input type="checkbox"/> 所属事業所外ジョブローテーションの実施		別紙	
職場： 年 月 日			評価者サイン	職場： 年 月 日			評価者サイン	職場： 年 月 日			評価者サイン
職場： 年 月 日			評価者サイン	職場： 年 月 日			評価者サイン	職場： 年 月 日			評価者サイン

メリィホスピタル 研修一覧 (2025年度予定)

	ラダー	研修名	目標	実施日・時間	担当	4月	5月	6月
必修研修	新人	新人研修	卒後1年目に取得する看護技術・知識・態度を学ぶことができる	第4金曜または第2金曜日 14:00~15:30		入職時集合研修	リフレッシュ研修(5/30) 注意:第5金曜日	患者観察の基本・接遇研修 1グループ(6/13) 2グループ(6/27)
	I	2年目研修	回復過程・維持課程・在宅における看護師の役割を理解し、患者の生活を支援することができる看護師として成長することができる	第1金曜日 14:30~15:30			eラーニング・今後の研修ポートフォリオについて(5/23) 注意:第4金曜全員	循環器系の解剖生理・フィジカルアセスメント【13-1】(6/6)前半グループ
	II~III	3年目研修	①基礎看護技術を再学習することで技術を向上し、実践をすることができる ②倫理的視点を踏まえた看護実践ができる	第3金曜日 14:30~15:30				ケーススタディについて(6/21)
	III~V	アソシエイト研修・会議	新人看護職員の育成において、職場内教育担当者としての役割を發揮する	奇数月第3木曜日 14:30~15:30			5/16 研修69-2 看護実践とリフレクション「アソシエイトとは」について「働きやすい職場環境作り」	
	II~III	プリセプター研修会議	新人看護職員の育成において、チームで支援をするためにプリセプターの役割を發揮する	偶数月/第3木曜日 14:30~15:30		4/18 研修70-1 新人看護師とのリフレクション・ディスカッション		6/20研修41・新人(多重課題)多重課題の内容検討「働きやすい職場環境作り」
	III~V	ローテーション研修	①在宅で研修することで、個々のキャリアアップに活かすことができる ②看護実践能力の向上を目指すために在宅の役割・機能・業務内容を理解する					
	共通	看護実践交流	チームで実践する医療・看護・介護実践を交流することができる	14:30~15:30				6/26
選択研修	I以上	看護倫理研修	日常的なシレンマを通じ患者の人権擁護を考える	14:30~15:00 (15:30までへ変更)				
	II~III	リーダーシップ研修	リーダーの役割を理解し、責任と行動が發揮できる	14:30~15:30				
	III以上	エビデンス研修	看護技術を向上し、質の高い看護を提供する	第3火曜日 13:30~14:30				
		補助者研修	患者サービス、ケアの向上のため必要な知識・技術を学び実践に活かすことができる	第1金曜日 10:00~11:00			挨拶 マナーとコミュニケーション 介護の心構え ケアスタッフ向け動画No.1(5/10)	医療安全・感染防止 ケアスタッフ向け動画 No.9(6/7)
特別研修		働きやすい職場づくりを考える会	働きやすい職場作りび自分がどう関わっていくかを考え、実践することができる(研修、委員会と抱き合わせ)	15:30~16:00				6/25
		主任研修	主任の役割について考え実践できる	第4水曜日 15:00~16:00		4/24	5/22	6/26
		医療安全・感染・薬剤	病院職員として求められる知識・技術を学び実践に活かすことができる		各委員会			メリィホスピタル教育委員会予定表に準ずる
		認知症ケア	患者の人権を守る看護が実践できる 症状別対応を学ぶことができる		認知症ケアチーム			メリィホスピタル教育委員会予定表に準ずる
		BLS研修	心肺停止時対応に必要な知識・技術を学び適切な対応ができる		ホスピタル教育委員会			メリィホスピタル教育委員会予定表に準ずる
		その他研修	トピックス研修を企画し、職員全体で学ぶことができる		共育委員会(随時)			ラダー申請、取得のための研修やトピックス企画研修を実施 募集数にて開催月を決定する(共育委員会)



新人教育責任者

私自身、新人看護職員さんの言動に新たな気づきがあり共に育っていると実感しています。みんなで声をかけあい成長していける職場で、しっかりサポートしていきます！



新人ナース

優しい先輩に助けられながら日々頑張っています。質問や相談に、親身に答えてもらい自身の成長につながっていると実感しています。

新人ナース

先輩達みんな優しく指導をしてくれます。また、子供がいても考慮してもらえるためとても働きやすいです。



新人ナース

先輩や多職種に相談しやすく働きやすい職場です。一緒に働きましょう！待っています。



7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
働きやすい職場づくりを考える会 50-1報告・連絡・相談(7/25)	26-緊急性の判断と報告の基本29-緊急リスクの高い患者の基本的特徴1グループ(8/8)2グループ(8/22)	多重課題(9/26)	リーダーシップとマネジメント:87・接遇研修1グループ(10/10)2グループ(10/24)	クリスマスサブライズ準備(11/28)	クリスマスサブライズ(12/26)	1年間で心に残る看護(1/23)	1年間のまとめ発表準備:接遇研修1グループ(2/13)2グループ(2/27)	頑張った会(3/27)	
循環器系の解剖生理・フィジカルアセスメント【13-1】(7/4)後半グループ	リーダーシップ研修(8/1)講師依頼予定全員	呼吸器系の解剖生理とフィジカルアセスメント【12-1】(9/5)前半グループ	呼吸器系の解剖生理とフィジカルアセスメント【12-1】(10/3)後半グループ	共有体制について(アソシエイトプリセプターとは)(11/7)講師依頼予定全員	消化器系のフィジカルアセスメント【14-1】(12/5)詳グループ	消化器系のフィジカルアセスメント【14-1】	看護観の発表(2/6)全員		
	ケーススタディ進捗状況(8/16)		ケーススタディ進捗状況(10/18)	働きやすい職場づくりを考える会(11/15)	発表資料提出(12/20)	発表予定(1/4)	発表予定(2/18)		
7/18研修41-新人(多重課題)多重課題の研修企画書作成		9/26 多重課題実施		11/21 研修70-2 看護業務とリフレクション・ディスカッション 多重課題の振り返り				3/13 アソシエイト準備研修「アソシエイトの役割」OJT・年間計画の確認	
	8/15 研修69-1 看護実践とリフレクション・ディスカッション 多重課題研修の確認		10/17 研修75-1 リーダーシップコーチングの基本・ディスカッション 多重課題の振り返り		12/19 評価表を用いた振り返り		2/20 プリセプター準備研修 プリセプターの役割 OJT・年間計画の確認		
←		医療院・訪問看護ローテーション	→				←	医療院・訪問看護ローテーション	→
				11/14				3/3	
7/30			10/28			1/31			
7/31看護補助者業務と教育ラダーについて延期			10/16 リーダーシップの基本(研修75-新人)15:00~16:00		12/17コーチングの基本(研修75-1)				
7/29		9/17		11/7			2/6		
医療制度の概要及び病院機能と組織の理解看護チームの一員としての看護補助者の理解(7/5)	守秘義務・個人情報保護ケアスタッフ向け動画No.19(8/2)	認知症のある患者の日常生活援助についてケアスタッフ向け動画No.13(9/6)	体位交換とポジショニングケアスタッフ向け動画No.5と演習(10/4)	移乗・移動(ストレッチャー)についてケアスタッフ向け動画No.6と演習(11/1)	排泄援助(おむつ交換・ポータブルトイレ)ケアスタッフ向け動画No.2と演習(12/6)	食事介助と口腔ケアケアスタッフ向け動画No.4と演習(1/10)	更衣介助ケアスタッフ向け動画No.8と演習(2/7)	入浴介助ケアスタッフ向け動画No.3(3/7)1年間の振り返り	
7/23	8/26	9/24	10/22	11/19	12/24	1/21	2/25	3/25	
7/24	8/28	9/25	10/23	11/27	12/25	1/22	2/26	3/26	
メリィホスピタル教育委員会予定表に準ずる									
メリィホスピタル教育委員会予定表に準ずる									
メリィホスピタル教育委員会予定表に準ずる									
ラダー申請、取得のための研修やトピックス企画研修を実施 募集数にて開催月を決定する(共育委員会)									



プリセプター

分からないことはあって当たり前です。先輩看護師達も同じ目線で共に考え、共に成長していける関係性を築いていきたいのでたくさん声をかけてください。



摂食嚥下障害看護認定看護師

特定行為研修修了者看護師も活躍しています。

“食べること”を支援する活動も6年目となり、病院での看護だけではなく相談や指導、学会発表、講演等の活動をしてきました。今までの活動や知識を活かしながらより多くの方の支援ができればと思います。



感染管理認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師、認知症看護認定看護師も在籍しています。

感染対策はすべての方を守るために重要です。手指衛生を行いながら、信頼される看護職員・病院を目指して日々頑張っています。一緒に頑張ってください皆さんをお待ちしています。

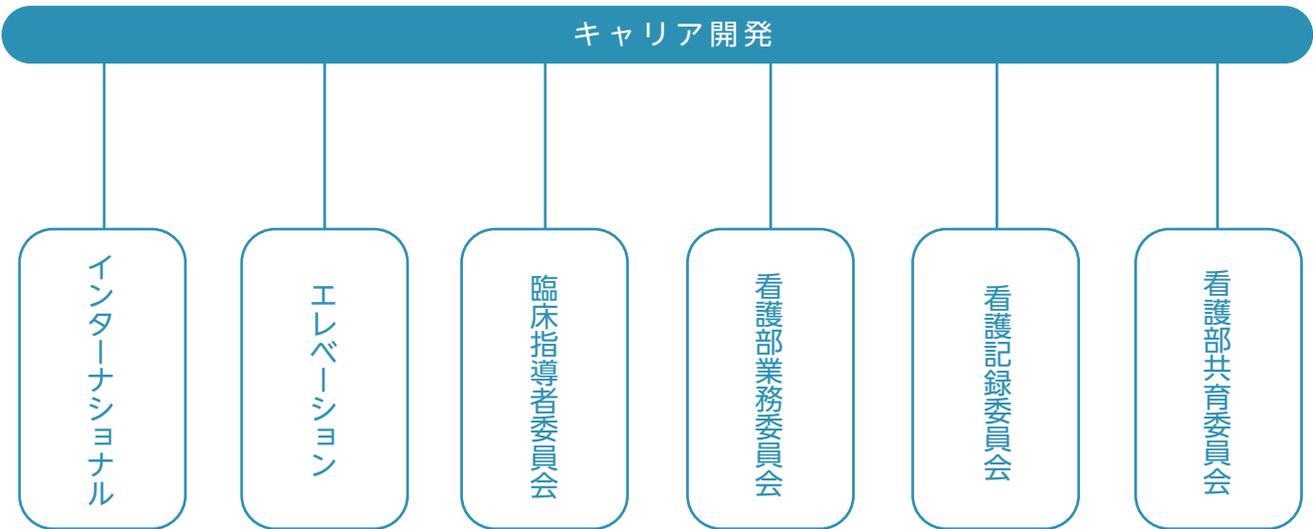


プリセプター

入職からしばらくの間は特に不安いっぱい毎日だと思えます。私たちも皆さんを支える事ができるよう頑張ります。

■ キャリア開発の紹介

キャリア開発は、看護部全体の様々な委員会運営、教育、外国人スタッフ、人事考課等の整備を行っています。それぞれに担当者を置き、看護サービスの質向上に向けて活動しています。教育では、八千代会グループ看護職ラダーの管理や運営、オンライン教材のイーラーニングの管理を行い、看護師が生涯学習を継続できるように整備しています。



■ 日勤看護師の1日



全体申し送り
患者さんへご挨拶



検温・看護ケア
カンファレンス



検温・看護ケア



食事介助・口腔ケア



夜勤者へ申し送り



各委員会の紹介

看護部共育委員会

看護部共育委員会では、ラダー別の研修を企画、管理、運営を行っています。

また、継続教育として委員会のなかで、学習会を実施し、お互いに切磋琢磨しながら教育について学習し、自分たちの教育力も培っています。八千代会グループ看護職ラダーでは新人看護師のラダー認定も行っています。

インターナショナル

当院は、海外より留学生、技能実習生、特定技能実習生を積極的に受け入れ配属後の研修企画、実施、試験対策の組み立てをしています。

また、外国人スタッフとの交流の場を企画、運営しています。



看護記録委員会

看護記録の監査や、記録に関するテンプレートの作成や修正を行っています。

看護記録で患者さんの情報が他職種へも分かりやすくなるよう取り組んでいます。

臨床指導者委員会

当院では、近隣の大学・看護学校の実習の受け入れを行っています。各領域での実習目標が多様されるよう、臨床指導者委員会で話し合いを重ね、実習の企画を行っています。

入院時から退院までを多職種で連携しそれぞれの職種の専門性を発揮し関わる場面を見ていただき、病棟で行う退院支援の実際を学んでいただいています。

エレベーション

2024年度より、個人の頑張りが評価されるグループ内制度が開始しました。その取り組みとして・目標管理・職種別ラダー・360度評価があります。自分のなりたい看護師像を目指して、毎年個人目標をたて、職場の支援を受けながら、自己表現していきましょう。

また、八千代会グループメリィ看護職ラダーを活用して看護師としてのステップアップをしていきましょう。私たちはあなたの成長を支えています。



看護部業務委員会

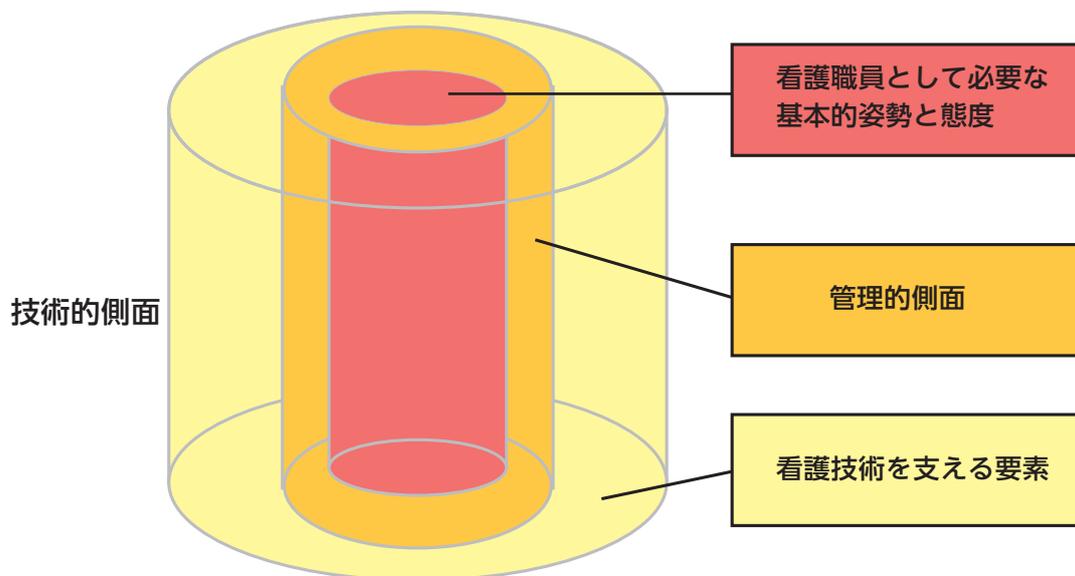
「看護業務」とは、看護の提供が主体で「何を」「どのように」すべきかを提示することです。看護基準手順マニュアルの見直しや作成を行っています。

また、5S活動も行い、安全な看護提供ができるよう取り組んでいます。

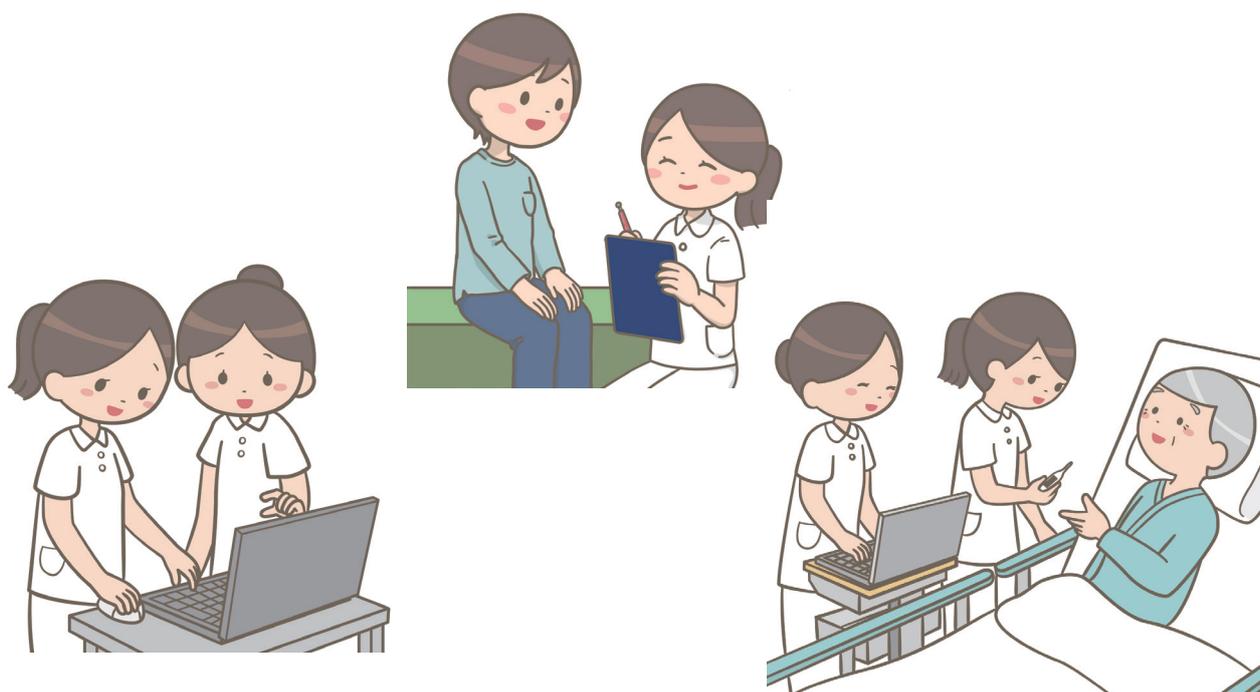


1. 研修内容と到達目標

看護は必要な知識、技術、態度を統合した実践的能力を、複数の患者を受け持ちながら、優先度を考慮し発揮することが求められています。新人看護職員研修ガイドラインでは、臨床実践能力の構造として、Ⅰ基本姿勢と態度 Ⅱ技術的側面 Ⅲ管理的側面の要素を示しています。



これらの要素はそれぞれ独立したものではなく、患者への看護を通して臨床実践の場で統合されるべきものです。また、看護基礎教育で学んだことを土台にし、新人看護職員研修で臨床実践能力を積み上げていくものです。



到達目標（新人看護職員看護チェック）

「看護職員として必要な基本姿勢と態度」「技術的側面：看護技術」「管理的側面」からなります。各項目の到達の目安は4段階で示され、「★」は1年以内に到達を目指す項目になります。

◎新人看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標

		到達の目安	
看護職員としての自覚と責任ある行動	①医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護する	★	I
	②看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	★	I
	③職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	★	I
患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	①患者のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	★	I
	②患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	★	I
	③患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る	★	I
	④家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	★	II
	⑤守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する	★	I
	⑥看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する	★	I
組織における役割・心構えの理解と適切な行動	①病院及び看護部の理念を理解し行動する	★	I
	②病院及び看護部の組織と機能について理解する	★	II
	③チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	★	II
	④同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとる	★	I
生涯にわたる主体的な自己学習の継続	①自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつける	★	I
	②課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	★	II
	③学習の成果を自らの看護実践に活用する	★	II

◎管理的側面についての到達目標

		到達の目安	
安全管理	①施設における医療安全管理体制について理解する	★	I
	②インシデント（ヒヤリ・ハット）事例や事故事例の報告を速やかに行う	★	I
情報管理	①施設内の医療情報に関する規定を理解する	★	I
	②患者等に対し、適切な情報提供を行う	★	II
	③プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う	★	I
	④看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する	★	II
業務管理	①業務の基準・手順に沿って実施する	★	I
	②複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する	★	II
	③業務上の報告・連絡・相談を適切に行う	★	I
	④決められた業務を時間内に実施できるように調整する		II
薬剤などの管理	①薬剤を適切に請求・受領・保管する（含、毒薬・劇薬・麻薬）		II
	②血液製剤を適切に請求・受領・保管する		II
災害・防災管理	①定期的な防災訓練に参加し、災害発生時には決められた初期行動を円滑に実施する	★	II
	②施設内の消火設備の定位置と避難ルートを把握し患者に説明する	★	I
物品管理	①規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う	★	II
	②看護用品・衛生材料の整備・点検を行う	★	II
コスト管理	①患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する	★	II
	②費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する	★	II

◎看護技術についての到達目標

		到達の目安	
環境調整技術	①温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整	★	I
	②ベッドメイキング（例：臥床患者のベッドメイキング）	★	I
食事援助技術	①食生活支援（食事内容の評価・対策・報告含む）		II
	②食事介助 臥床患者 ベッド30度前後での食事介助	★	I
	ベッド45度以上の食事介助	★	I
	嚥下障害のある患者への食事介助	★	I
	③経管栄養法 傾聴ポンプの使用ができる	★	2
	経鼻カテーテルの挿入・管理（意思疎通困難な患者・注入も含む）		II
	胃瘻（液体・般固形注入）・管理（固定水交換など）	★	I
	胃瘻交換の介助		I
排泄援助技術	腸瘻・OPTEG（経皮食道胃管）の注入・管理		I
	①自然排尿・排便援助（尿器・便器介助、可能な限りおむつを用いない援助を含む）	★	I
	②導尿（男性）		I
	導尿（女性）		I
	③膀胱内留置カテーテルの挿入と管理（男性）		I
	膀胱内留置カテーテルの挿入と管理（女性）		I
	④浣腸		I
	⑤排便処置 摘便		II
活動・休息援助技術	排便処置 ストーマケア		II
	①歩行介助・移動の介助・移送	★	I
	車椅子移乗介助・移送【リクライニング式車椅子伸しようが理解できるを含む】	★	I
	ストレッチャ（ベッド）での移送【スライダーが正しく使用できるを含む】	★	I
	②体位変換	★	I
	③廃用症候群予防・関節可動域訓練		II
	④入眠・睡眠への援助	★	II
	⑤体動、移動に注意が必要な患者への援助（意識低下・鎮静中の患者）	★	II
体動、移動に注意が必要な患者への援助（不穩、不動、情緒不安定がある患者）	★	II	
清潔・衣生活援助技術	①清拭（全介助）	★	I
	②洗髪（全介助）		I
	③口腔ケア（義歯のない人）	★	I
	（義歯のある人）	★	I
	（気管カニューレのある人）	★	I
	（ベッドでの口腔ケア＊スポンジブラシでの介助）	★	I
	④入浴介助（トローリーでの介助）		I
	（浴槽での介助）		I
	（気管カニューレ・CVのある人の介助）		I
	⑤部分浴・陰部ケア・おむつ交換	★	I
⑥寝衣交換等の衣生活支援、整容	★	I	
呼吸・循環を整える技術	①酸素吸入療法	★	I
	②吸引（気管内）	★	I
	（口腔内）	★	I
	（鼻腔内）	★	I
	③ネブライザーの実施	★	I
	④体温調整	★	I
	⑤体位ドレナージ		II
⑥人工呼吸器の管理		IV	
⑦気管カニューレの管理（カフ圧のチェック）		II	

創傷管理技術	①創傷処置		Ⅱ
	②褥瘡の予防	★	Ⅰ
	③包帯法		Ⅱ
与薬の技術	①経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	★	Ⅰ
	②皮下注射、		Ⅰ
	③筋肉内注射		Ⅰ
	④皮内注射		Ⅰ
	⑤血糖測定		Ⅰ
	⑥静脈内注射	★	Ⅰ
	⑦点滴静脈内注射		Ⅰ
	⑧中心静脈内注射の準備・介助・管理		Ⅰ
	⑨輸液ポンプ・シリンジポンプの準備と管理		Ⅰ
	⑩輸血の準備、輸血中と輸血後の観察		Ⅱ
	⑪抗菌薬、抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察	★	Ⅱ
	⑫インシュリン製剤の種類・用法の理解と副作用の観察		Ⅱ
与薬の技術	⑬麻薬の種類・用法の理解と主作用・副作用の観察		Ⅱ
	⑭薬剤等の管理(毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む)		Ⅱ
救命救急 処置 技術	①意識レベルの把握	★	Ⅰ
	②気道確保	★	Ⅱ
	③人工呼吸	★	Ⅱ
	④閉鎖式心臓マッサージ	★	Ⅱ
	⑤気管挿管の準備と介助	★	Ⅱ
	⑥外傷性の止血		Ⅱ
	⑦チームメンバーへの応援要請	★	Ⅰ
	⑧救急カート、モニターの準備(補充、点検、物品把握も含む)		Ⅰ
症状・生体機能 管理技術	①バイタルサイン(呼吸・脈拍・体温・血圧)の観察と解釈	★	Ⅰ
	②身体計測	★	Ⅰ
	③静脈血採血と検体の取扱い	★	Ⅰ
	④動脈血採血の準備と検体の取り扱い		Ⅰ
	⑤採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い		Ⅰ
	⑥血糖値測定と検体の取扱い	★	Ⅰ
	⑦心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理		Ⅰ
	⑧パルスオキシメーターによる測定	★	Ⅰ
苦痛の緩和・安楽 確保の技術	①安楽な体位の保持	★	Ⅱ
	②電法等身体安楽促進ケア		Ⅱ
	③リラクゼーション技法(例:呼吸法・自律訓練法等)		Ⅱ
	④精神的安寧を保つための看護ケア		Ⅱ
感染予防技術	①スタンダードプリコーション(標準予防策)の実施	★	Ⅰ
	②必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択	★	Ⅰ
	③無菌操作の実施	★	Ⅰ
	④医療廃棄物規定に沿った適切な取扱い	★	Ⅰ
	⑤針刺し切創、粘膜暴露等による職業感染防止対策と事故後の対応	★	Ⅰ
	⑥洗浄・消毒・滅菌の適切な選択		Ⅰ
安全確保の技 術	①誤薬防止の手順に沿った与薬	★	Ⅰ
	②患者誤認防止策の実施	★	Ⅰ
	③転倒転落防止策の実施	★	Ⅰ
	④薬剤・放射線暴露防止策の実施		Ⅱ
死亡時のケアに 関する技術	①死後のケア		Ⅲ
	②家族へのグリーフケア		Ⅲ



メリィホスピタル 看護部